

# 奈良県の地震

## 【奈良県の地震活動図】

震央分布図と断面図

## 【奈良県地震概況】

## 【奈良県で震度1以上を観測した地震の一覧】

## 【奈良県で震度1以上を観測した地震の震度分布図】

## 【地震一口メモ】

南海トラフ地震臨時情報について

「奈良県の地震」は、奈良地方気象台における地震調査の一環として県内の地震活動状況を的確に把握し、きめ細かい防災対策に資するため1989年1月より月1回発行しています。「奈良県の地震」は、上記の項目で構成し、適宜地震解説資料や用語解説等を掲載します。

※本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※震度データは、気象庁の震度計の観測データに併せて地方公共団体、及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものを掲載しています。

※この資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。

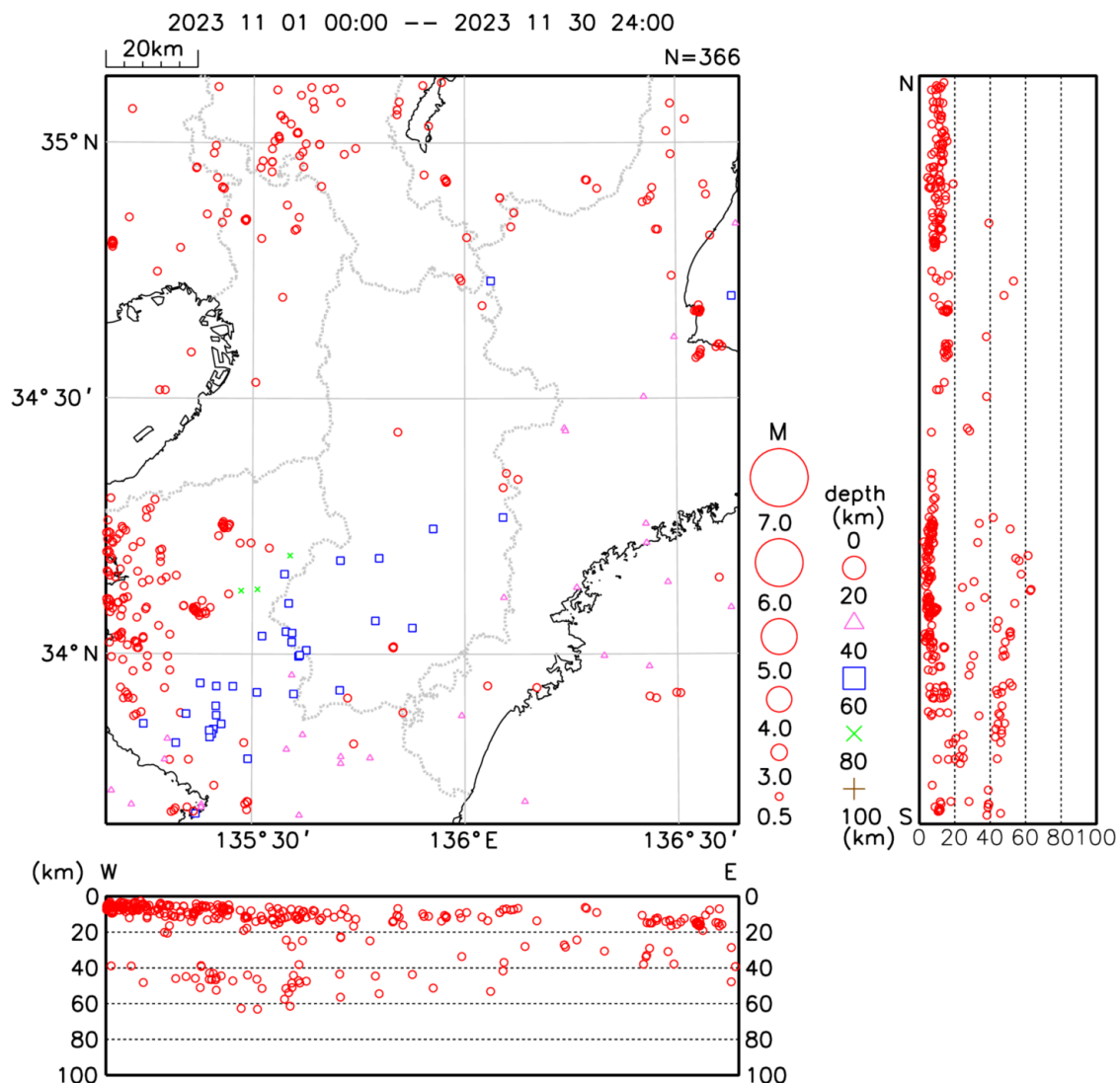
奈良地方気象台

2023年11月

## 【奈良県の地震活動図】

### 震央分布図と断面図

地図範囲内に分布している震央の南北方向の断面図(右上)と、東西方向の断面図(左下)で、地震の垂直分布を表しています。これにより、マグニチュード(M)の大きさと深さによる地震発生状況が把握しやすくなります。



## 【奈良県地震概況】

1日07時34分 紀伊水道の地震(深さ46km、M4.9: 地図範囲外)により、奈良県内では天川村と十津川村で震度2を観測し、県内の広い範囲で震度1を観測しました。

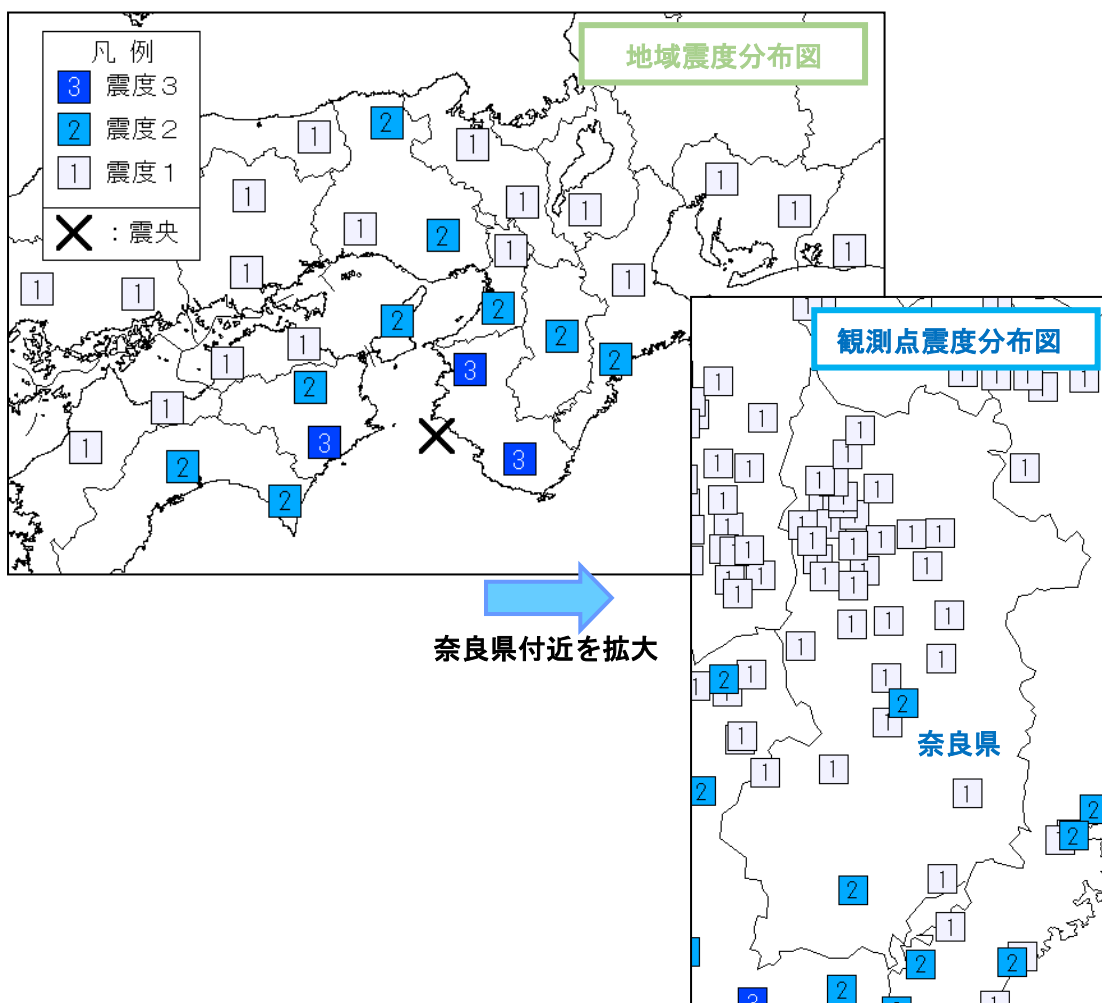
## 【奈良県で震度1以上を観測した地震の一覧】

震源時(年月日時分)	震央地名	北緯	東経	深さ(km)	M
2023年11月01日07時34分	紀伊水道	33° 47.6' N	135° 05.9' E	46km	M4.9
各地の震度(奈良県内のみ記載)					
震度 2 : 天川村洞川, 十津川村小原 *					
震度 1 : 奈良市二条大路南 *, 大和高田市野口 *, 大和郡山市北郡山町 *, 天理市川原城町 * 橿原市八木町 *, 桜井市初瀬, 桜井市粟殿 *, 五條市大塔町辻堂 *, 五條市岡口 * 御所市役所 *, 香芝市本町 *, 斑鳩町法隆寺西 *, 安堵町東安堵 * 奈良川西町結崎 *, 三宅町伴堂 *, 田原本町役場 *, 高取町観覚寺 *, 明日香村橋 * 広陵町南郷 *, 河合町池部 *, 吉野町上市 *, 大淀町桧垣本, 黒滝村寺戸 * 天川村沢谷 *, 野迫川村北股 *, 下北山村寺垣内 *, 上北山村河合 * 奈良川上村迫 *, 東吉野村小川 *, 葛城市柿本 *, 宇陀市榛原下井足 * 宇陀市大宇陀迫間 *					

\* 印は地方公共団体等の震度観測点です。

## 【奈良県で震度1以上を観測した地震の震度分布図】

2023年11月01日07時34分	紀伊水道	33° 47.6' N	135° 05.9' E	46km	M4.9
-------------------	------	-------------	--------------	------	------



# 【地震一口メモ】

## ～南海トラフ地震臨時情報について～

気象庁は、南海トラフ沿いで発生する地震などを常に監視していて、南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を始めた時やその調査結果を発表する時に南海トラフ地震臨時情報を4つのキーワードを付記して発表します。

キーワード	調査中	■観測された異常な現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合
	巨大地震警戒	■南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界において M8.0 以上の地震が発生したと評価した場合
	巨大地震注意	■南海トラフ地震の想定震源域内のプレート境界において M7.0 以上、M8.0 未満の地震が発生したと評価した場合 ■想定震源域のプレート境界以外や、想定震源域の海溝軸外側 50km 程度までの範囲で M7.0 以上の地震が発生したと評価した場合 ■ひずみ計等で有意な変化として捉えられる、短い期間にプレート境界の固着状態が明らかに変化しているような通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合
	調査終了	■巨大地震警戒、巨大地震注意のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合

県内にお住まいで、「巨大地震警戒」のキーワードが付記された南海トラフ地震臨時情報を見聞きした場合は、今後1週間は次の巨大地震の発生に警戒して日頃からの地震への備えを再確認し政府や自治体からの呼びかけに応じた行動をとってください。また、次の巨大地震によって家屋の倒壊や土砂崩れが発生する恐れのある場所にお住まいの方は自治体が開く避難所へ自主的に避難することも考えてください。その後、更に1週間は次の巨大地震の発生に注意しつつ引き続き日頃からの地震の備えを再確認するようにしてください。

「巨大地震注意」のキーワードが付記された場合は、1週間は巨大地震の発生に注意しつつ日頃からの地震の備えを再確認するようにしてください。「巨大地震警戒」や「巨大地震注意」のキーワードが付記された場合は、先の地震でも避難などの防災対応が必要な場合がありますので、避難しながらも地震への備えを再確認できるように平时に地震への備えを進める必要があります。また、「調査終了」のキーワードが付記された場合は、特段の防災対応は必要ありませんが、大規模地震が起こる可能性がなくなったわけではないことに留意が必要です。

右の二次元コードから南海トラフ地震臨時情報が発表された際の防災対応や日頃からの地震の備えなどを分かりやすく説明している「南海トラフ地震 その日が来たら…」へアクセスすることができます。

いつ南海トラフ地震が発生しても自分の命はもちろん、大切な人の命を守るために、日頃から地震への備えをしておきましょう。



本紙は奈良地方気象台のホームページでも過去の分も掲載しています。  
URL : <https://www.data.jma.go.jp/nara/jisin/jisin.htm>

